

龜山市
市制施行20周年

日
々
是
幸
日

ニ
チ
ニ
チ
コ
レ
コ
ウ
ジ
ツ

龜山市市勢要覽

Kameyama City Municipal Handbook



「緑の健都」

という名のまち。

A new day begins again amid the rich nature, history, culture and warm connections among people. Unchanging happiness and happiness that is changing. Daily life in Kameyama, the healthy city with greenery, is filled with happiness.

豊かな自然と悠久の歴史文化、
温かなつながりの中に
今日が始まる。

変わらない幸せと、
変わりつつある幸せ。

緑の健都、亀山に暮らし、
日々は幸日。

CONTENTS

三重県 亀山市
市制施行20周年 市勢要覧
Kameyama City
Municipal Handbook

このまちで暮らす人々	03	亀山二十景	21	市議会	37
成長する緑の健都かめやま	05	自然・環境	21	名誉市民	39
コロナ禍を乗り越えて	07	豊かな自然を守り継ぐ	25	文化大使	40
健康・福祉		産業・交通		写真と年表で振り返る	
健都に暮らす	09	産業の集積		市制施行からの20年	41
子育て・教育		交通拠点性の向上	29	資料編	45
子どもの笑顔溢れる	13	共生社会・安全・安心			
歴史・文化		人がつながりまちが高まる	33		
先人に学び新たに創造する	17				



日 々 是 幸 日



それぞれが
幸せのカタチ

成長する

緑の健都かめやま

Kameyama, the Growing Healthy City with Greenery

人口減少社会・スマート社会の到来を背景に、未曾有の感染症ショックや複雑な国際情勢など、不確実性・変動性の時代を迎えています。

亀山市は、こうした環境変化に適応しつつ、持続的な成長を目指し、都市の快適さを支える生活基盤の向上やまちの魅力の創出などに取り組んでいます。

とりわけ、令和4年10月には、亀山駅周辺整備事業による市街地再開発事業が完成し、再開発ビル「キットテラス亀山」や公共施設である駅前広場、亀山新橋などが整備されたほか、その後、新たな「知」の拠点である新図書館がキットテラス亀山内に開館し、市の玄関口が刷新しました。

一方、リニア中央新幹線市内停車駅の誘致活動の活発化や、「一般国道306号「鈴鹿亀山道路」」の事業化など、交通の要衝として、地域ポテンシャルが高まっています。

こうした都市成長に支えられながら、亀山市はこれからも、自然・歴史・産業が調和したまちに、人々が心身ともに健やかに暮らせる、真の「健康都市」の実現に向け取り組んでいきます。



市制施行前のJR亀山駅前

Against a backdrop of the emergence of a depopulating society and a smart society, we are entering an era of uncertainty and volatility, marked by unprecedented pandemics and complex international circumstances.

While adapting to those environmental changes, Kameyama City has been striving for its sustainable growth by enhancing the living infrastructure that supports comfort and creating the appeal of the city. In particular, through the Kameyama Station Area Development Project, we have completed the urban redevelopment project in November 2022, with the construction of Kitto Terrace Kameyama and the reconstruction of other public facilities, such as the station square and the Kameyama Shinbashi Bridge. After that, the city's gateway has been revitalized with the opening of a new library as an "intellectual hub" within Kitto Terrace Kameyama.

Meanwhile, through the attraction of a Linear Chuo Shinkansen station, the development of Route 306 ("Suzuka-Kameyama Road"), etc., the city is further enhancing its potential as a key transportation hub. Kameyama City will continue its efforts to realize a true "healthy city," where people can live in good physical and mental health in their local communities where nature, history and industry are in harmony.



市内のリニア中央新幹線ボーリング調査現場への首相視察



リニア中央新幹線「リニア三重県駅」の誘致

最速で2037年の全線開業を目指すリニア中央新幹線は、3大都市圏を短時間で結び、東海道新幹線とのダブルネットワークによる災害リスクに対するリダンダンシーの確保や、東京一極集中の是正と地方の活性化などが期待されています。市内においても、建設主体による概略ルートの絞り込みや概略駅位置選定の検討を開始するためのボーリング調査が実施されるなど、着実に取り組みが進められています。



完成イメージ (仮称川崎下庄線IC)
三重県鈴鹿建設事務所 提供

一般国道306号「鈴鹿亀山道路」の整備

高速道路への結節点となる亀山JCTと鈴鹿市内の鈴鹿四日市道路を結ぶ新たな自動車専用道路として整備が進められており、川崎町地内にインターチェンジが設置されることで、高速道路の利便性の向上と新たな土地利用の促進が期待されます。



新図書館の開館

令和5年1月にJR亀山駅前に開館した新図書館は、「学びの場からつながる場へ」を基本理念に、幅広い年代の人々が学び、交流を楽しむ「居場所」を目指しています。



コロナ禍を乗り越えて

After Overcoming the COVID-19 Pandemic

令和2年、新型コロナウイルス感染症が世界規模で大流行したことにより、我が国は国難とも言つべき危機的事態に瀕し、私たちは3年余りの長きにわたり、未曾有のコロナ禍を経験しました。

移動の自粛、3つの密の回避、マスクの着用など感染拡大防止に努める中で、人とのコミュニケーションや社会経済活動が制限され、社会環境は激変するとともに、テレワークやオンライン会議など新しい働き方や過ごし方が広がりました。

こうした中、本市は、「亀山市新型コロナウイルス感染症対策本部」を中心に感染症対策に万全を期すとともに、市民生活の支援、地域経済の支援、感染症対策の充実等を柱とする一連の総合対策を積極的に展開しました。

これらの経験を経て、私たちは、人々とのつながりや支え合い、地域医療提供体制の大切さなどを再認識することができました。また、コロナ禍を乗り越えた今、対面でのコミュニケーションや地域の活動が復活し、本市がこれまで培ってきた市民力・地域力も再生しつつあります。



鈴鹿市・亀山市緊急共同アクション



新型コロナウイルス感染症対策「緊急政策パッケージ」【総合対策パッケージ】



手作りマスク

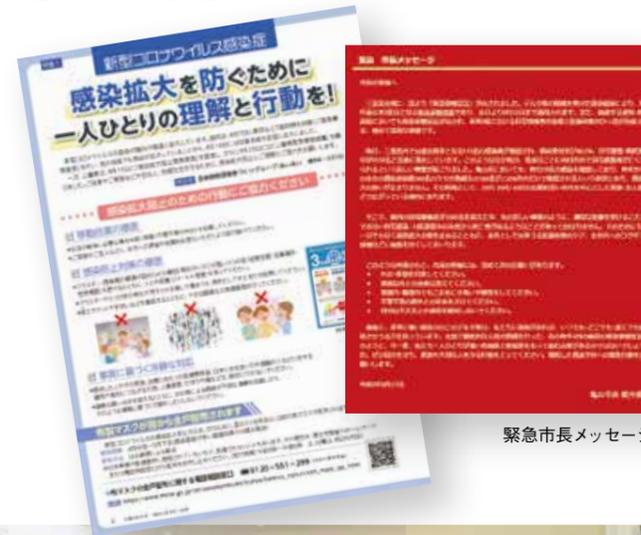


亀山エール飯チャレンジ事業



亀山市プレミアム付商品券事業

広報かめやま 令和2年5月1日号
新型コロナウイルス感染症 特集



緊急市長メッセージ

In 2020, COVID-19 spread globally. We faced a national crisis that could be described as a calamity and experienced an unprecedented pandemic for over three years. We made efforts to prevent the spread of its infection by restricting movement, avoiding the "Three Cs" (closed spaces, crowded places and close-contact settings) and wearing masks. At the same time, communication with others and social and economic activities were limited, leading to dramatic changes in our social environment. Additionally, new ways of working and living, such as telecommuting and online meetings, became widespread. Amid these circumstances, our COVID-19 Countermeasures Headquarters took through measures to prevent the spread of the virus. At the same time, we actively implemented a series of comprehensive measures focused on supporting citizens' lives, supporting the local economy, and enhancing infection control measures. Through those experiences, we have been able to reaffirm the importance of human connections, mutual support and community healthcare systems. Now that we have overcome the pandemic, face-to-face communication and community activities are resuming, and the civic and community strength that our city has cultivated over the years is also being restored.



図書除菌器



飛沫防止シート



ワクチン



①



②



③

- 【医療センター】
- ① 発熱外来診察室の建設
 - ② 待合室
 - ③ サーモグラフィ

令和2年、亀山市立医療センターは開院30周年を迎えました。地域に密着する公立病院として、今後も関係機関との連携により信頼される地域医療を実現し、安心・安全な地域づくりに貢献していきます。



KAMEYAMA

健康・福祉

Health and Welfare



▶かめやま健康都市大学の創設

WHO（世界保健機関）の提唱する健康都市の実現に向け、市民のヘルスリテラシーの向上を図るため、健康に関する知識の習得と実践の場として、令和5年10月7日、「かめやま健康都市大学」を創設しました。



Kameyama City agreed with the "healthy city" concept proposed by the World Health Organization (WHO), which is an idea of "protecting our health not only by our effort but also by means of all the functions of our city, and then as a member of the Alliance of Healthy Cities, we are making various efforts to extend the healthy life expectancy of its citizens. Those efforts include the strengthening of the community healthcare delivery systems in partnership with local medical institutions, such as Mie University and Shiga University of Medical Science, and the promotion of the prevention of infectious diseases and cancer. Additionally, with the establishment of "Kameyama Healthy City University," we have been making efforts to advance health promotion by creating new learning and social opportunities for citizens centered around health and expanding community-based health activities. Besides to ensure that everyone can live with security in their familiar neighborhood, we are comprehensively promoting community welfare in collaboration with local welfare commissioners, children's social workers, welfare committee members, the Council of Social Welfare, etc. Aiming to build an inclusive society, we are also promoting multi-layered support systems to address complex and multifaceted welfare issues, such as social withdrawal and financial hardship, as well as mutual assistance and support in local communities.

健都に暮らす

Life in the Healthy City

亀山市は、「健康は自分だけで守るものではなく、都市の機能すべてで守る」というWHO（世界保健機関）が提唱する「健康都市」の考え方に賛同し、健康都市連合加盟都市として、市民の健康寿命を延ばす様々な取り組みを展開しています。

三重大学や滋賀医科大学をはじめとする地域の医療機関等との連携による地域医療提供体制の強化や感染症・がんの予防を推進するとともに、「かめやま健康都市大学」の創設を契機に、健康を軸とした市民の新しい学びと交流の場の創出や、地域での健康活動の拡大など、ヘルスプロモーションの推進に努めています。

また、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、民生委員・児童委員や福祉委員、社会福祉協議会等と連携し、地域福祉を総合的に推進しています。ひきこもりや生活困窮など、複雑化・複合化した福祉課題に対応する重層的な支援体制や、地域の助け合い・支え合いの促進に取り組み、安心の共生社会の構築を目指しています。



▶一般社団法人セルフケアフード協議会に加盟

健康都市の実現を目指し、食を通じた健康づくりにつながる事業連携に取り組んでいます。



▶アーバンスポーツ環境の提供

名阪工業団地第三公園をスケートボード等のアーバンスポーツができる場所として開放しています。



▶アプリ de ウェルネス推進事業

健康寿命の延伸に向け、スマートフォンアプリを活用して、歩くことを中心に市民の主体的な健康づくりの定着を図っています。

▶クーリングシェルター

熱中症特別警戒アラートが発表された場合に暑さから逃れるための「クーリングシェルター（指定暑熱避難施設）」を設け、熱中症による重大な健康被害の発生の防止に努めています。



▶三重ホンダヒートとの連携

三重ホンダヒートとの連携により、トップレベルの競技スポーツの魅力に触れる機会を提供しています。



▶健康都市の推進

本市は、WHOが提唱している「健康都市」を推進する「健康都市連合」及び「健康都市連合日本支部」に加盟し、健康都市という考え方を取り入れて、市民の健康に関する課題への取り組みを強化し、市民と行政が一緒になった健康なまちづくりを推進しています。



／ 産学官の連携 ／

医療体制の確保や健康増進の取り組み



市民の健康増進に関する連携協定

企業等との連携の下、市民の健康づくりを推進しています。

- ① 明治安田生命保険相互会社
- ② 大塚製薬株式会社
- ③ 中北薬品株式会社
- ④ 亀山商工会議所、全国健康保険協会三重支部



滋賀医科大学と共同研究講座設置協定を締結

滋賀医科大学との共同研究を通じて、医療センターの整形外科常勤医師を配置することで地域医療体制を確保し、安心の医療を提供しています。

幅広い世代へ健康意識を広げたい

Interview

地元企業の産業保健師として従業員の健康管理に携わり、「かめやま健康都市大学」の第一期生として1年間受講しました。この経験を通じて、地域と企業が協力して健康づくりを進めることの重要性を再認識しました。健康なときに病気のリスクを伝えるのは難しいですが、日常生活に合った運動習慣を持つことが大切だと感じています。今後は「健都サポーター」として、幅広い世代に健康意識を高めるアプローチや支援を続け、市民や従業員の健康増進に貢献していきたいと考えています。



健都サポーター
はっとり 服部 あつこ
服部 篤子さん



ひとりぼっちをつくらない。

重層的な支援体制の充実・強化

多様化した福祉課題を抱える世帯に対し、子ども・障がい・高齢・生活困窮など分野を越えた支援を展開しています。



かめやまホームケアネット

医師や歯科医師をはじめ、薬剤師、訪問看護師、ヘルパーなど多くの職種でチームを組み、在宅での医療と介護を支援しています。



民生委員・児童委員の活躍

地域の身近な相談相手として、福祉委員とも連携し、支援を必要とする人と関係機関をつなぐ役割を担っています。



予防接種費用助成事業

感染症の地域での流行や重症化を予防し、市民の健康保持・増進を図るため、インフルエンザ、おたふくかぜ、帯状疱疹等について予防接種費用の助成を行っています。



高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業

高齢者の疾病予防・重症化予防、生活機能の改善を図るため、健診・医療・介護に関するデータを活用・分析し、個別指導や健康教育などを行っています。



認知症の人や家族の支援

亀山市認知症初期集中支援チーム「カナリアチーム」や認知症サポーター等の「チームオレンジかめやま」が認知症の人の社会参加や生活の支援等を行っています。

「緑の健都」のまちづくり



▶ 野外体験保育

市内保育所等において、地域の自然を活用する体験活動を取り入れた保育や幼児教育に取り組んでいます。



▶ こども家庭センター

令和6年4月、「子育て世代包括支援センター」と「子ども家庭総合支援拠点」の機能を一体化した「こども家庭センター」を開設しました。母子保健・児童福祉の両機能の連携・協働を深め、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行っています。



▶ 「あそび推進市」認定

令和5年10月、一般社団法人あそび庁より全国で2番目となる「あそび推進市」に認定されました。あそびや運動を通して、子どもも大人も心身ともに健康で幸福を感じるまちの実現を目指しています。



▶ 子育て支援センター

就学前の子どもと保護者の皆さんが安心して楽しく遊べる場所で、市内に5カ所あります。子育て情報を提供するほか、子育てに関する相談に応じ、子どもの健やかな育ちを支援します。



▶ 出産後から就学前までの切れ目のない健康診査の実施

4カ月児、10カ月児、1歳6カ月児、3歳児健康診査を行うほか、1カ月児の健康診査に係る費用を助成することで、出産後から就学前までの切れ目のない健康診査を実施しています。

▶ 子ども医療費助成制度

出生から中学校修了までの児童を対象に、医療費の現物給付(窓口無料化)を行っています。



▶ 待機児童の解消に向けた就学前教育・保育機能の充実

既存施設における保育室等の増築や民間事業者による認定こども園化への財政支援を行うなど、就学前教育・保育施設の受入機能の強化を図っています。



溢れる子どもの笑顔

City Filled with Children's Smiles

In Kameyama City, centered around its Child and Family Center, seamless and appropriate support is provided to all pregnant and nursing mothers, children and families with children during the periods of pregnancy and child-rearing. Additionally, childcare concierges are assigned to actively provide consultations. We are also enhancing pre-school education and childcare by strengthening reception functions through the expansion of existing day-care facilities and the implementation of outdoor experiential childcare that utilizes the rich natural environment and historical resources unique to Kameyama City. Moreover, we are updating the large playground equipment in Kameyama Park's Wanpaku Square, etc. to create enjoyable spaces for children of various ages. In elementary and junior high schools, initiatives are underway to create distinctive schools that utilize local resources and to enhance individualized and finely tuned education. Furthermore, to support children, students and their parents facing worries and multifaceted problems, efforts are being made to create supportive environments and enhance support systems for them within and outside schools.

亀山市では、こども家庭センターを中心に、妊娠期から子育て期までのすべての妊産婦と子ども、子育て世帯に対し、個々の家庭に応じた切れ目のない支援を行うとともに、子育てコンシェルジュを配置し、相談対応を積極的に行っています。

また、既存の保育所における保育室の増築による受入機能の強化や、亀山市ならではの豊かな自然、歴史資源を活用した野外体験保育の実践により就学前教育・保育の充実を図るほか、亀山公園わんぱく広場の大型複合遊具などを更新し、様々な年齢の子どもたちが楽しめる場所を整備しています。

小・中学校では、地域資源を生かした特色ある学校づくりや、個別最適できめ細かな教育の充実に取り組みほか、悩みや複合的な課題を持つ児童・生徒及び保護者等を支援するため、学校内外の居場所づくりや支援体制の充実を図っています。



➤ 家庭教育出前講座

保育所・幼稚園・認定こども園を対象に、保護者が自信を持って子育てを楽しめるよう講座を開催しています。



➤ タブレット端末を利用した学習

市内小・中学校では、令和3年度から子どもたちの可能性を引き出し、情報を活用する資質や能力の育成を目標に、1人1台タブレット端末を活用した学習を本格的に進めています。



／ 生きる力を育む ／
創造的な教育活動

➤ キャリア教育

将来の夢を描き、夢に向かって進むためのキャリアイメージを持つとともに、自己有用感を高める取り組みを進めています。



➤ 地域の特色を生かした学び

市内小・中学校では、規模に応じて、きめ細かな教育や、地域の特色を生かした学びの充実を図っています。



自分らしく学ぶ。

Interview

子どもの遊び場・居場所が豊富

東京での仕事から出産を機に地元へ戻り、亀山で子育てを始めました。自然が豊かで古いまちなみが残り、子ども向けのスポットや地域イベントも充実していて、子育てのしやすさを実感しています。特に「あいあいっこ」は週2・3回利用していて、子どもと一緒に楽しい時間を過ごさせています。

ほかにも、各地域にある子育て支援センターで、ベビーマッサージやたあそびなどのイベントに参加しながら、たくさんの人と出会い、交流を深めています。



亀山子育て支援センター「あいあいっこ」利用者
ながさか 美沙さん
みさ 美沙さん
そらちゃん



➤ 主体的・対話的な学びの推進

子どもたち一人ひとりの自己実現と確かな学力の向上のため、学校規模に応じて、個別最適できめ細かな教育の充実を図っています。



➤ 二十歳の集い

令和4年4月1日から成年年齢が18歳に引き下げられましたが、二十歳の節目を祝うため、成人式を名称変更し、20歳を対象とする式典を開催しています。



➤ 中央公民館講座

新たな学びや生きがいのため、地域まちづくり協議会や市民活動団体等と連携しながら、様々な講座を開講しています。



➤ かめやま人キャンパス

3年間を1期とし、ステップアップ方式で学び、成果を地域で役立て、活躍できる場を創出する講座を開講しています。

「緑の健都」のまちづくり



➤ 進路(進学)相談会

NPO法人、教育委員会、中学校長会がPTA、市民活動団体等と連携し、子どもの進路や将来に関するきめ細やかな支援のための場を設けています。



➤ フリースペースかめっこ

日中、不登校の子どもが学習したり、興味のあることに取り組んだりできる、学校や教育支援センター以外の場所です。



➤ にじいろのーと

発達支援の必要なお子さんが切れ目ない支援を受けられるように、園や学校、サービス事業所などの各機関でスムーズに情報を引き継ぐためのサポートブックを設けています。



国重要伝統的建造物群保存地区選定40周年

昭和59年に関宿が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されてから、令和6年12月に40周年を迎えました。記念シンポジウムや子どもワークショップなどを開催し、伝統的建造物の保存・活用や関宿への愛着・誇りの醸成を図りました。



Since ancient times, Kameyama City has flourished as a place where eastern and western cultures meet and interact. The cultures brought by travelers took root here in various forms, and over many centuries, they have evolved to shape the unique history and culture of the city as seen today. Through our efforts to preserve and inherit those historical and cultural legacies, in 2021, the "Suzuka Barrier," a significant ancient checkpoint that existed during the Asuka and Nara periods, was designated as a National Historic Site. Additionally, in 2024, Seki-juku, a historical post town, marked the 40th anniversary of its designation as a Nationally Important Preservation District for Groups of Traditional Buildings. The prolonged COVID-19 pandemic had an impact on the inheritance of traditional performing arts and festival events. However, after overcoming the pandemic, various efforts and innovations are being made to pass on those traditions to the next generation, children, who will shape the future of the city. Meanwhile, in recent years, cultural and artistic activities, such as the "Kameyama Culture Year", the "Kameyama Triennale" and the "Kameyama musical", have also been promoted.

「日本武尊 弟橘媛 愛うるはし」の建立

令和5年1月、JR亀山駅前広場に、亀山市名誉市民の彫刻家で文化勲章受章者の中村晋也さんが制作された「日本武尊 弟橘媛 愛うるはし」がヤマトタケル・オトタチバナヒメ銅像建立実行委員会の寄贈により建立されました。



亀山市歴史博物館開館30周年

令和6年、亀山市歴史博物館は開館30周年を迎えました。亀山市の原始から現代までの歴史を実物資料で伝える常設展示のほか、市の歴史をテーマで伝える企画展を行っています。

先人に学び 新たに創造する

Learning from Our Predecessors and Creation of Something New

亀山市は、古くから東西文化が交流する地として栄えてきました。旅人たちからもたらされた文化は、様々な形でこの地に根つき、長い年月の中で姿を変えながら、現在の本市固有の歴史文化を形づくってきました。

これらの歴史文化を守り継ぐ取り組みを重ねながら、令和3年には、飛鳥・奈良時代に存在した関所「鈴鹿関」が古代の重要な関所として国の史跡に指定されました。また、令和6年には、関宿が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されてから40周年の節目を迎えました。

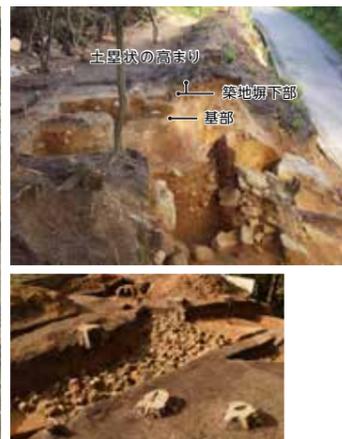
こうした中、長期化したコロナ禍が伝統芸能や祭礼行事の継承にも影響を与えましたが、コロナ禍後、再び次世代を担う子どもたちへと伝承する工夫や取り組みが続けられています。

一方、近年の文化芸術活動として、「かめやま文化年」を開催するほか、亀山トリエンナーレや亀山ミュージカルなどの取り組みも展開されています。

鈴鹿関跡の国史跡指定

令和3年3月、鈴鹿関跡が野村一里塚、正法寺山荘跡に次ぐ3例目の国の史跡に指定されました。

築地堀イメージ



市指定無形文化財 傘鉦

毎年10月、忍山神社の例祭において、大きな傘状の山車が町を巡行します。



市無形民俗文化財 獅子舞

布気町と三寺町で3年に1度正月に、五穀豊穡・家内安全を祈願して舞われています。



県・市指定無形文化財 かんこ踊り

盆・秋祭りなどで壺をなぐさめたり、秋の豊作を祝うため、安坂山町池山、川合町、阿野田町のほか、加太地区で踊られています。



県指定無形文化財 亀山藩御流儀 心形刀流武芸形

天和2(1682)年に伊庭是水軒秀明が創始した武芸の流派で、江戸四大道場の一つとして隆盛を極め、亀山藩に伝えられました。

文化芸術を生かしたまちづくり

「かめやま文化年」の取り組み



3年に一度、文化芸術を生かしたまちづくりを推進する取り組みを行っています。「かめやま文化年2024」では、子どもたちの文化芸術活動に参画する機会の充実に努めつつ、まちのにぎわいや魅力の創出につなげました。



まちの魅力が高まる。

多様な文化芸術活動の展開

市民の自主的な活動の支援や交流促進を行い、文化芸術の継承と創造を図っています。



Interview

大人が楽しむ姿が 子どもの興味の きっかけに

「かめやま文化年2024」の実行委員会では、ホームページの作成や写真撮影などに関わり、文化年全体のデザイン監修を担当しました。私は他市から移住してきましたが、亀山市は素朴な人柄や、深い歴史文化に魅力があるまちだと感じています。次世代の子どもたちに、そんな市の良さや文化に触れるきっかけになってほしいと思い、取り組みでは、まず私たち大人が楽しむということを大事に考えています。大人の楽しそうな姿を見ることで、子どもたちも興味を持てるのではないかと思います。



かめやま文化年2024
実行委員会委員
うえたにともひろ
上谷 朋大さん



亀山市フィルムコミッション事業の支援

亀山市のロケーションを提供し、映画等を通じた情報発信を行うことで、亀山市の知名度の向上と誘客の強化を図っています。



亀山市文化芸術基本条例の制定

文化芸術に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、令和3年12月に「亀山市文化芸術基本条例」を制定し、翌年3月に「亀山市文化芸術推進基本計画」を策定しました。



日本武尊・白鳥伝説三市交流事業

日本武尊の最期にまつわる「白鳥伝説」にゆかりのある大阪府羽曳野市、奈良県御所市と幅広い分野での市民交流に取り組んでいます。



「亀山トリエンナーレ」の支援

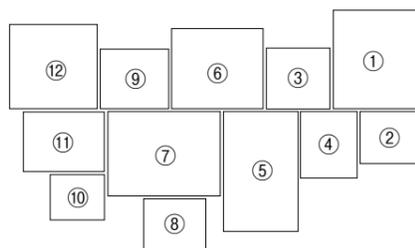
東町商店街や旧東海道などまちの風致を生かし、国内外のアーティストによる絵画や立体、映像、写真、インスタレーションなど様々な作品に触れられる現代アートの祭典「亀山トリエンナーレ」を支援しています。



市指定文化財の活用

幕末から大正にかけ呉服商を営んでいた館家。明治6(1873)年に建てられた主屋は、亀山宿を代表する商屋建築です。田中家は関宿新所で江戸後期に古着商・質屋等を営んでいました。主屋は江戸時代後期の建築と考えられています。これら市指定文化財で芸術祭など催事を行うなど活用しています。

「緑の健都」のまちづくり



- ①太岡寺囃さくらまつり(太岡寺町) ②花しょうぶまつり(亀山公園菖蒲園) ③関宿祇園夏まつり(関宿一帯)
- ④花蓮祭り(辺法寺町) ⑤亀山市関宿納涼花火大会(鈴鹿川河川敷) ⑥石水溪(安坂山町)
- ⑦亀山市納涼大会(亀山公園) ⑧かんこ踊り(市内各所) ⑨亀山青空お茶まつり(中の山パイロット)
- ⑩亀山大市(東町・本町) ⑪獅子舞(市内各所) ⑫東海道関宿街道まつり(関宿一帯)

亀山 二十景

かめやま
にじゅっけい



夏



春

冬

秋

市長あいさつ



令和の時代、私たちの価値観やライフスタイルが多様化しています。また、幸福度や心の豊かさ、暮らしやすさを高める社会の実現が求められています。

豊かな自然、悠久の歴史文化に抱かれた亀山市。人とひとが支えあうコミュニティや健やかな家族、そして未来への静かな胎動も心地いい。この20年の歩みは、真の「緑の健都」への礎であり、市民と将来世代の希望です。

亀山市長 

Mayor's Greeting

In the Reiwa era, our values and lifestyles are becoming increasingly diverse. In addition, there is a growing demand to realize a society that enhances happiness, spiritual wealth and quality of life. Kameyama, blessed with abundant nature as well as timeless history and culture, offers a sense of comfort through communities where people support one another, healthy families and quiet stirrings of hope for the future. The progress made for the past 20 years has laid the foundation for a true "green city of health," providing hope to our citizens as well as future generations.

Mayor of Kameyama Sakurai Yoshiyuki



安全でおいしい水道水の供給

亀山市の水道水は、地下水などから供給しており、安全でおいしい水道水として、市民に高く評価されています。



亀山市気候非常事態宣言の表明

地球温暖化を防止するほか、危機的な気候変動を緩和し、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進めるため、令和5年7月10日、気候非常事態宣言を表明しました。



カーボンニュートラルなまち「健都かめやま」の構築に向けた連携協定

西日本電信電話株式会社三重支店、NTT アノードエナジー株式会社東海支店と連携協定を締結し、脱炭素社会への貢献、SDGsの推進及び地域レジリエンスの強化に取り組んでいます。



天文台「童夢」

星がきれいに見える坂下地域の特性を生かし、天文に興味を持っていただくとともに、地域の交流の場となるコミュニティ天文台を運営しています。



天然記念物「ネコギギ」の保護

亀山市は、鈴鹿高等学校とネコギギの飼育協定を締結し、ネコギギの保護に取り組んでいます。



ササユリの保全

地元有志らの会「楠平尾ササユリ保存会」が、約2ヘクタールの「ササユリの里」で約2千株のササユリを育成しています。

ミツマタの保全

和紙の原料として知られるミツマタが野登山のふもとに群生し、地元住民による「みつまたを愛する会」が保全に取り組んでいます。



「亀山7座トレイル」登山道活用ネットワークによる登山道整備

石水溪観光協会、鈴鹿高等学校山岳スキー部、亀山市地域社会振興会で構成する「亀山7座トレイル」登山道活用ネットワークと市が協力して、亀山7座の登山道整備やパトロール等を行っています。



植樹祭の実施

緑豊かな環境づくりと市民の緑化意識の向上を目的に、毎年植樹活動を行っています。



クリーン作戦の実施

亀山市地区衛生組織連合会が、地域の環境美化の推進のため、啓発や清掃活動を行っています。

豊かな自然を 守り継ぐ

Preservation and Inheritance of Our Rich Nature

In Kameyama City, abundant natural environments in forests and rivers and an ecosystem, including the headwaters of the Suzuka River, are being preserved. We are implementing forest management to properly maintain and utilize the multifaceted functions for groundwater recharge in forests, soil runoff prevention, etc. Additionally, we are also promoting efforts to pass on our rich nature to future generations through cooperation among industry, academia, citizens and government. Furthermore, to promote the charms of the Suzuka Mountains and the Nunobiki Mountains as a tourism resource and pass them on to the next generation, we have designated the representative mountains of the city as the "Seven Peaks of Kameyama," and volunteer organizations are taking the initiative for the development and maintenance of their trails. In addition, to promote the coexistence of humans and nature, the Kameyama City Biodiversity Regional Strategy has been formulated, and the Kameyama Biodiversity Coexistence Area Certification System has been established for biodiversity conservation. Besides, we are also taking action to prevent global warming and mitigate the critical impacts of climate change as well as to promote decarbonization and the Sustainable Development Goals (SDGs).

亀山版 OECM 認定制度「かめやま生物多様性共生区域」の認定

令和5年度から、多様な主体が守っている自然豊かな場所を「かめやま生物多様性共生区域」として認定し、その場所で行われている様々な活動を支援しています。



①里のにぎわい「大地のおへそ」(安坂山町) ②かぶとの田んぼ(加太中在家) ③ササユリの里(橋平尾町) ④野登山地内にある野登寺境内地(安坂山町) ⑤原屋久太夫記念・関宿新所の杜(関町新所) ⑥株式会社豊田自動織機亀山試験場の森(白木町) ⑦かぶとの森テラス(加太中在家) ⑧キツネコのいえの田畑(加太中在家) ⑨能褒野神社境内地(能褒野町)



環境省の「自然共生サイト」に認定 生物多様性保全 の取り組み

環境省は令和5年度から、民間の取り組みなどによって生物多様性の保全が図られている区域を「自然共生サイト」に認定する仕組みを開始しました。亀山里山公園「みちくさ」は、初回の認定箇所122カ所の1つとして認定されました。亀山市でも独自の認定制度を創設しました。



自然とともに生きる。



自然を学ぶ「里山塾」の実施

亀山里山公園みちくさ管理運営協議会との協働により、見て、触って、体験して自然を学ぶ「里山塾」を開講しています。

Interview

自然とのふれ合いが 子どもの豊かな学びに

6年前に千葉から家族で移住しました。亀山には、人や自然の多様性を受け入れてくれる温かな風土があります。そこで、移住者と地元の人々が混ざり合い、自然の中で豊かな子育てができればと、令和2年に仲間と共にwindsoilを設立しました。取り組みでは、子育て中の親子を中心に、自然の中の親子広場や里山での稲作・森作り体験等を通じた学びの場を提供しています。

里山での体験が子どもたちの成長につながり、将来、自然を大切にすることを育むと信じています。そして、亀山が「人」と「自然」をつなぐ発信点になることを願っています。



市民団体 windsoil
代表 谷 慶子さん



亀山7座トレイル

本市出身のアルピニスト故尾崎隆氏の登山人生にちなみ、市域の標高約700メートル前後の7座(野登山、仙ヶ岳、白杵ヶ岳、四方草山、三子山、高畑山、錫杖ヶ岳)を結ぶトレイルを開発しました。



公共施設・防犯灯のLED化

公共施設や自治会が管理する防犯灯の照明をLEDに更新し、省エネルギーを進めることにより、温室効果ガス(CO₂)排出量の削減を図っています。



道路・公園等環境美化 ボランティア推進事業

平成19年度から公園・緑地等において、平成24年度から道路において環境美化に取り組むボランティア団体を支援しています。



ハイブリット資材による溶融処理

亀山市総合環境センターの溶融施設において、温室効果ガスの排出量削減に向け、コークスと木質バイオマスチップとのハイブリット(混焼)資材による廃棄物処理を令和5年9月から行っています。



「緑の健都」のまちづくり

産業の集積 交通拠点性の向上

Industrial Accumulation and Enhancement of the Function as a Transportation Hub



Since ancient times, Kameyama City has served as a key transportation hub for the active exchange of people, goods and information between Eastern and Western Japan: it was home to the significant checkpoint known as the "Suzuka Barrier" in ancient times and three of the 53 post towns established along the Tokaido Road in the Edo period, and flourished as a "railroad town" in the prewar period. In recent years, through the construction of the Shin-Meishin Expressway as a junction of major roads and the development of Route 306, the "Suzuka-Kameyama Road", it is now expected that the extensive road network will be further strengthened. Additionally, Kameyama became the final candidate site for the prefecture's only station for the upcoming Linear Chuo Shinkansen, a new national transportation artery, through the meeting of the Mie Prefecture Association for the Promotion of the Construction of the Linear Chuo Shinkansen. Preferably, that will enhance the city's role as a transportation hub and support its growth as a sustainable city through tourism exchange, the creation of new industrial locations, etc. Moreover, situated midway between the Chubu and Kansai regions, Kameyama City leverages its excellent transportation access and geographical advantage to accumulate a diverse range of industries by attracting new business enterprises and revitalizing companies within the city through its unique industrial promotion incentive system. Furthermore, through the Kameyama brand certification system, the appeal of its locally produced goods is being promoted nationwide.

亀山市は、江戸時代には東海道五十三次の3つの宿場が置かれるとともに、近代では「鉄道のまち」として栄えるなど、古くから東西交通の要衝の地として、人・モノ・情報の交流が盛んに行われてきました。近年は、広域幹線道路の結節点として新名神高速道路が整備されたほか、一般国道306号「鈴鹿亀山道路」が事業化され、広域道路ネットワークのさらなる強化が期待されています。

また、「リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会」において、新たな国土の大動脈となるリニア中央新幹線の県内駅候補地を亀山市とする決議がされるなど、一層の交通拠点性の向上はもとより、観光交流、新たな産業立地など、持続可能な都市として成長が期待されます。

さらには、交通アクセス性や中部圏・関西圏の中間に位置する地理的優位性を生かし、亀山市独自の産業振興奨励制度による企業誘致や市内企業の活性化により、多様な産業が集積しています。また、亀山ブランド認定制度により、多様な地場産品の魅力を全国へ発信しています。



創業支援・空き店舗等活用支援

市内商業の活性化、まちのにぎわい創出を目的に、商工会議所との連携による創業塾の開講や、空き店舗等を活用した出店に係る費用助成などを行っています。



JR 加太駅のリニューアル

令和2年3月に西日本旅客鉄道株式会社から昭和11年に建設のJR加太駅舎を譲り受け、改修を行い、令和4年4月、歴史観光資源の情報発信や地域のにぎわい交流の新たな拠点として生まれ変わりました。

リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議の取り組み

リニア中央新幹線の早期全線開業とリニア市内停車駅誘致を目指し、市民団体・企業・行政が一体となった市民会議を通じて、推進活動を展開しています。リニア駅誘致のさらなる気運醸成のため、将来のリニア駅周辺をイメージしたジオラマを製作しました。



公共交通の利便性の向上

JR 亀山駅前の乗降場が屋根付きとなり、乗継・待合環境が改善されたほか、一部バスルートにオートステップ機能付きの車両を導入し、車椅子での乗降も可能になりました。また、乗合タクシー「のりかめさん」は、高齢者を中心に身近な交通手段として定着してきています。



一般国道306号「鈴鹿亀山道路」杭打ち式の開催

新名神高速道路亀山JCTと鈴鹿市街地の一般国道23号鈴鹿四日市道路を結ぶ延長約10.5kmの自動車専用道路「鈴鹿亀山道路」が事業化されました。



官民連携による企業誘致

多様な産業集積により、持続可能なまちづくりにつなげています。



亀山ブランド

豊かな自然、伝統と風土、歴史文化を最大限に活かして生み出された産品や、新たに発掘・創出された産品を令和3年度から「亀山ブランド」として認定しています。



豊かな恵みを生かす。

亀山茶の生産

県下最大規模 88ヘクタールの集団茶園「中の山パイロット」を中心に、お茶の栽培に適した風土で育った上品な旨味と清涼感が特徴の亀山茶が生産されています。

Interview

市とともに未来を 灯す企業でありたい

現在、カメヤマ株式会社では、「伝統と革新」をテーマに商品開発に取り組んでいます。品質と愛され続けるパッケージデザインなどは大切にしつつ、新しい世代向けの商品も生み出しています。



令和6年3月にオープンした「ロソクタウン」は、市民に身近で喜ばれる存在になるため、工場見学などロソクの魅力を体験できる施設を提供しています。今後も亀山市が魅力的なまちであり続けるために、市と企業がお互いに切磋琢磨し合っ、ともに発展していくことを企業として目指していきたいです。



カメヤマ株式会社
神仏商品本部 副部長
かさま やすよ
笠間 康代さん



観光プロモーション

歴史、文化、自然など観光コンテンツを効率的かつ効果的に情報発信するため、「アートが生まれる街、亀山」をコンセプトに、令和4年度から4年間、三重県観光連盟との協働による情報発信等に取り組んでいます。



ふるさと納税

複数のポータルサイトから簡易にご寄附いただける環境を整え、市の特産品やその魅力を全国に発信しています。



サステナブル ファーマーの認証

農業経営において持続可能かつ高付加価値な取り組みを行う法人を、亀山サステナブルファーマーとして認証しています。



モンキー レンジャーズ

令和5年5月、サル被害対策に特化したチーム「モンキーレンジャーズ」を亀山市鳥獣被害防止対策推進協議会内に立ち上げました。



地域計画

農業者の高齢化や担い手不足、耕作放棄地の増加などの課題について地域で話し合い、将来の農地利用の姿を明確化する「地域計画」を策定しています。



亀山紅茶

戦後から昭和40年頃まで、亀山市は日本有数の紅茶の産地でした。紅茶輸入自由化等により緑茶品種に転換され、紅茶製造は次第に姿を消しましたが、近年復活しました。

「緑の健都」のまちづくり

KAMEYAMA

共生社会
安全・安心

Citizen Collaboration,
Coexistence, Safety and Security



協働事業提案制度

市民と行政の多様なアイデアを提案する窓口を設置し、事業化できるものは協働で実施していくための仕組みです。



食の祭典・市民の集い

食を通しての地域活性化を目指し、自治会連合会の各支部による地域の特産品や料理のブース販売が行われています。



市民活動応援制度

市民活動団体を、市民が市民活動応援券を用いて応援しています。登録団体は、取得した応援券の枚数に応じて「応援交付金」の交付を受けます。



人が
ながり
まちが
高まる

Connections among People and Improvement of Well-being of Citizens

亀山市は、つながりと交流のあるまちを目指し、多様な主体との連携と協働により、「市民力・地域力が輝くまちづくり」に積極的に取り組んでいます。

また、市内で多くの外国人住民が安心して暮らせるよう、情報発信や相談体制の充実を図っています。さらに、市内外の人から「選ばれるまち」となるよう、まちへの愛着・誇りの醸成や移住希望者への情報提供・支援にも取り組んでいます。

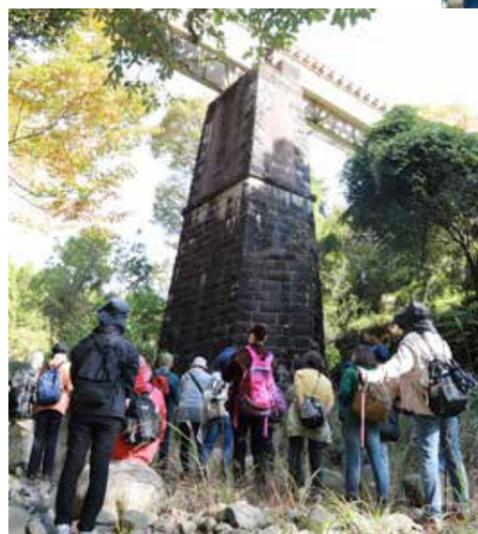
一方、全国的に災害の脅威が増す中、大規模災害に対応するため近隣の消防機関と連携し、消防力の強化を図っています。また、自主防災組織の結成促進や活動支援、地域における防災訓練の開催等を通じ、自助・共助を基本とした防災対策を推進しています。

このほか、特殊詐欺や交通事故から市民を守るため、防犯対策や交通安全対策の実施、市民生活の安定・向上に取り組んでいます。



JR 加太駅での交流

令和4年4月にリニューアルしたJR加太駅では、音楽イベントや作品展示などが行われ、地域内外の交流の場となっています。



いこか連携

(伊賀市・甲賀市・亀山市広域連携推進会議)

隣接する伊賀市・滋賀県甲賀市・亀山市の地域課題への対応や交流連携等の推進を図るため、伊賀市・甲賀市・亀山市広域連携推進会議を設置し、様々な取り組みを展開しています。



地域まちづくり協議会の取り組み

地域課題の解決に向けて、多様な主体で構成する地域まちづくり協議会が市内全域で組織され、地域特性を生かした活動を展開しています。また、地域の担い手育成を目的とする研修を開催しています。



地区コミュニティセンターの充実

城東地区まちづくり協議会の新たな活動拠点施設の確保に向け、城東地区コミュニティセンターを整備しました。



移住・交流の促進

移住・交流促進アドバイザーとともに情報発信や移住相談会でのPRを行うほか、移住体験ツアーや、空き家活用ワークショップ「DOMAプロジェクト」を通じた地域と移住希望者の交流の場づくりに取り組んでいます。



①



②



③



④



⑤

① 鈴鹿市・亀山市によるはしご自動車の共同整備・運用 ② 津市・鈴鹿市及び亀山市消防通信指令事務協議会の設置 ③ 水防訓練 ④ 図上訓練 ⑤ 市町村広域災害ネットワーク

災害に強いまちづくり 防災・消防力の強化

近年、地震や豪雨等の災害が多発し、防災・減災対策の重要性が高まる中、自助・共助・公助による防災力の向上を図っています。
また、複雑化・多様化する災害や大規模災害に近隣消防機関と対応できるように取り組んでいます。



安心に暮らす。

地域防災力の向上

自助・共助・公助の連携により、災害時に適切に避難し、避難所運営ができるよう、総合防災訓練を実施しています。

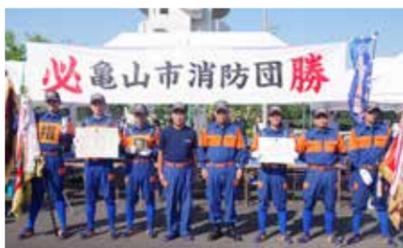
Interview

三重県消防操法大会で3連覇達成！

消防訓練の成果を競い合う「三重県消防操法大会 小型ポンプ操法の部」で優勝しました。大きなプレッシャーがありました
が、団員の協力や家族、職場、地域の皆さんの支えがあったからこそ、3連覇を成し遂げられたと感じています。



地域の皆さんは、日頃から消防活動に理解があり、親切で協力的な方ばかりです。消防団と地域との距離感も近く、一丸となって防災活動に参加してくれています。地域防災を支える重要な存在として、今後も地域に寄り添った活動に努めます。



亀山市消防団第4分団(川崎地区)の皆さん



橋梁・農業用ため池の耐震化

橋梁の健全度を点検し、計画的に修繕を進めるとともに、防災重点農業用ため池の地震・豪雨耐性や劣化状況を調査し、耐震化を図っています。



上下水道施設の強靱化

震災等に備え、水道施設の耐震化や停電対策を進めるとともに、老朽化した下水道施設の長寿命化を図るなど、上下水道施設の強靱化に取り組んでいます。



木造住宅の耐震化

地震等で建物が倒壊する災害リスクの低減を図るため、木造住宅の耐震診断や耐震補強・除却工事に対する費用の一部を支援することで、耐震化を推進しています。



鈴鹿亀山消費生活センター

令和3年11月に移転し、バリアフリー化されました。商品やサービスの契約トラブルなど、消費者からの相談に応じています。



電子版多言語広報「かめやまニュース」の配信

外国人住民向けに10言語で見られる電子版「かめやまニュース」を配信しています。



日本語教室の開催

外国人住民が日本語や生活習慣・文化を学ぶ場として、市民活動団体「はじめのいっぽ」との協働により日本語教室を開いています。

「緑の健都」のまちづくり



The Kameyama City Council, entrusted with municipal government by its citizens and composed of 18 elected members, serves as a representative body of the city alongside the mayor, who is also elected. Under the dual representative system, the city council's roles and responsibilities have become increasingly important in recent years: it is expected to strengthen and enhance oversight of administration as well as its own policy formation function. In this context, while maintaining a constructive tension with the mayor, the city council makes its own decisions through sincere debates and appropriate deliberations on various proposals from the citizens' perspective, and proactively engages in policy proposals and the drafting of policy ordinances, etc. Those council activities are shared with citizens in an accessible manner through various media, such as the official website, city council newsletters, and live or recorded broadcasts/streaming of council meetings on cable TV or the Internet.

市民に身近で 信頼される議会へ

Efforts to Make Our City Council More Accessible to
and Trusted by Our Citizens

市議会は、市民からの負託を受け、選挙で選ばれた18名の議員で構成され、同じく選挙で選ばれた市長とともに市の代表機関です。
二元代表制のもと、市議会の果たす役割と責任は、昨今ますます重要になってきており、行政の監視機能と、自らの政策形成機能の強化、充実が求められています。

そのような中、市議会は市長との緊張関係を保ちつつ、市民の目線に立ち、真摯な議論と的確な議案審議に努めることで議会としての意思決定を行うとともに、政策提言や政策条例等の立案にも積極的に取り組んでいます。

これらの議会活動の様子は、ホームページや市議会だより、ケーブルテレビやインターネットによる議会中継や議会報告番組の放送などで、市民にわかりやすくお知らせしています。



継続的な議会改革を 推進しています

平成22年8月に議会基本条例を施行した後、「議会改革推進会議」及び「検討部会」を設置し、継続した議会改革を推進しています。



「見える議会」を 推進しています

議会の公開性と透明性の向上に努め、市民に身近で信頼される議会となるよう、議会活動の情報発信の充実に努めています。



寺岡 清高
 元大阪交響楽団常任指揮者
 さいまつコンサート
 (亀山市) 指揮者

早稲田大学第一文学部卒業。桐朋学園大学を経てウィーン国立音楽大学に学ぶ。1997年同、イタリア・シエナのキジアーナ音楽院より「フランコ・フェラーラ大賞」を授与され、1年間ロンドン・コヴェントガーデン、ミュンヘン・フィル等で研鑽を重ねる。2000年、ミトロopoulos国際指揮者コンクール優勝。以降、フェニーチェ歌劇場管弦楽団、サンクトペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団、ウィーン室内管弦楽団、イギリス室内管弦楽団をはじめ、ヨーロッパ各国のオーケストラへ客演。日本では2001年に大阪交響楽団を指揮してデビュー。2004年1月に正指揮者に就任。2011年4月から2019年3月まで常任指揮者を務める。



豊田 清
 埼玉西武ライオンズ
 一軍投手コーチ

1971年亀山市生まれ。鈴鹿高校、同朋大学を経て、ドラフト3位で93年に西武ライオンズ入団。1995年9月15日の近鉄戦(藤井寺球場)でプロ初登板。当初は先発投手として、2001年から抑え役に転向し、豪速球と密なコントロール、決め球のフォークボールで、2002年、当時のパ・リーグ新記録となる38セーブを挙げ、最優秀救援投手賞を受賞。2006年にFAで読売巨人軍に移籍し、リリーフ投手として2010年まで3度の優勝に貢献。2011年広島東洋カープに移籍し、この年で現役を引退。以後、読売巨人軍で投手コーチを務める。2019年から野球解説者として活躍、2020年から埼玉西武ライオンズの一軍投手コーチに就任。



林家 菊丸
 落語家

1974年亀山市生まれ。大阪産業大学入学(中退)後、1994年四代目林家染丸に入門。林家染丸の芸名を拝受。1996年うめだ花月シアターにて初舞台。吉本興業所属となる。2003年には初の独演会を開催(大阪・トリオホール)。2014年9月、林家一門の推挙、公益社団法人上方落語協会の承認により、三代目林家菊丸を115年ぶりに襲名。2022年、令和4年度第77回文化庁芸術祭大衆芸能部門「大賞」受賞。古典落語から創作落語まで持ちネタは多岐多彩。特に女性の演じ方には定評があるほか、滑稽に人情味も加え、泣き笑いの演出が好評を呼んでいる。2015年からは、国立大学法人三重大学社会連携「特任教授」を務めている。



原 正美
 作曲家

1947年亀山市生まれ。武蔵野音楽大学音楽学部作曲学科卒業、武蔵野大学専攻科作曲学科修了。作曲をクラス・プリングスハイム教授(グスタフ・マーラーの弟子)、石黒修三、田辺恒弥の各氏に師事。専攻科在学中より株式会社スクリーン・ミュージックにおいて東映テレビなどでの映画音楽を担当後、フリーの作曲家として様々な分野での音楽を担当し、文部大臣賞などの受賞作品多数。現在は映像作品の作曲の他、毎年横浜を中心に自作歌曲の初演や、合唱曲のコンサート活動にも力を入れている。2004年、旧亀山市市制50周年の際、市の委嘱により組曲「雪月花かめやま」を作曲、記念演奏。



真路 まなみ
 シャンソン歌手

亀山市生まれ。三重大学卒業。フランス芸術文化勲章叙勲ピアニスト・加藤滋氏にシャンソンを師事。美輪明宏、菅原洋一、グラシェラ・スサーナ等が出演を重ねてきた名古屋の名門ライブハウス「カフェ・コンセル・エルム」でデビュー。シャンソンコンクール全国大会にて奨励賞(1995年)、歌唱賞(1997年)受賞。「名古屋巴里祭」で美輪明宏、ジャクリーヌ・ダノ、ジャクリーヌ・ボワイエ等と共演。2011年7月「真路まなみ&浜崎久美子ジョイントコンサート」、2012年8月、2014年7月「亀山プチ巴里祭」出演。日仏シャンソン協会特別歌手会員としてフランスでも公演。「カフェ・コンセル・エルム」レギュラー歌手。



青木 定治
 パティスリー・サダハル・ア
 オキ・パリ シェフパティシエ

1989年青山「シャンドン」を経て、単身渡仏。パリ「ジャン・ミエ」、「レストラン メディテラネ」、スイス「レストラン ジェラルド」でキャリアを重ねる。1995年フランスのシャルブルー・スト杯味覚部門で優勝。1998年パリにアトリエを開設。2001年パリ6区サンジェルマンに「パティスリー・サダハル・アオキ・パリ」を開店。2007年ルレ・デセルのフランスのメンバーに。2011年フランス最優秀パティシエ、農林水産省料理マイスター、パリ市庁賞、C.C.C.ショコラ品評会で最高位を受賞。2012年フランストップ5ショコラティエ、トップ10パティシエに。2019年C.C.C.ショコラ品評会でトップアーティザルショコラ&タブレット100に選出。



上田 秀洋
 信州大学名誉教授
 美術家

1947年亀山市生まれ。東京芸術大学卒業、同大学院美術研究科修了、グランド・ショミエール美術学校留学(フランス)、東京芸術大学版画教室留学(文部省内地研究員)、フランス国立図書館研究員(版画)などで美術を学び、信州大学教授として勤務し2012年に退官、現在は信州大学名誉教授。研究発表は、個展及びグループ展(第一美術展、日本芸術祭(カナダ)、現代の作家展、ジャパニーズ・アート・セレクション(ニューヨーク)、損保ジャパン選抜奨励展等)等多数。全日本年賀状・版画・絵手紙コンクール(信越郵政局)、山本県版画大賞展児童生徒部門(上田市立美術館)など数々の審査員などを務める。



葛山 信吾
 俳優

1972年亀山市生まれ。高校3年生のときに第3回「ジュノン・スーパーボーイ・コンテスト」でグランプリ獲得。翌年、俳優デビュー。これまでテレビドラマ・映画・舞台・CMなど数々の出演をしており、ミステリーや大河ドラマなどで演じた役は幅広い。2000年には、「仮面ライダーウグ」に出演し、母親層から人気を博す。「渡る世間は鬼ばかり」にも同時期に出演しており、多忙を極める。2002年には、当時大きな話題になった昼ドラマ「真珠夫人」に出演。同年、女優の細川直美さんと結婚。現在は2児の父親。2021年所属芸能事務所から独立。演じる楽しみを味わえる舞台を軸として活動している。



川戸 佳
 東京大学名誉教授

1950年亀山市生まれ。京都大学理学部物理学専攻卒業。東京大学大学院理学系研究科物理学専攻 博士課程修了(理学博士)。スイスのチューリッヒ工科大学 生化学科助手。東京大学大学院教授として勤務し(広域科学専攻、物理学専攻)、2015年に退官し東京大学名誉教授。現在は順天堂大学医学部泌尿器科学講座客員教授。2016年英国・内分泌学会の最優秀論文賞を受賞。脳海馬の記憶学習を専門分野とし、老化による神経の劣化と、その回復法やストレスの記憶への影響の研究に取り組む。海馬が自分自身で男性・女性ホルモン(情報伝達物質)を作っていることを発見。これが記憶能力を高める作用を研究している。

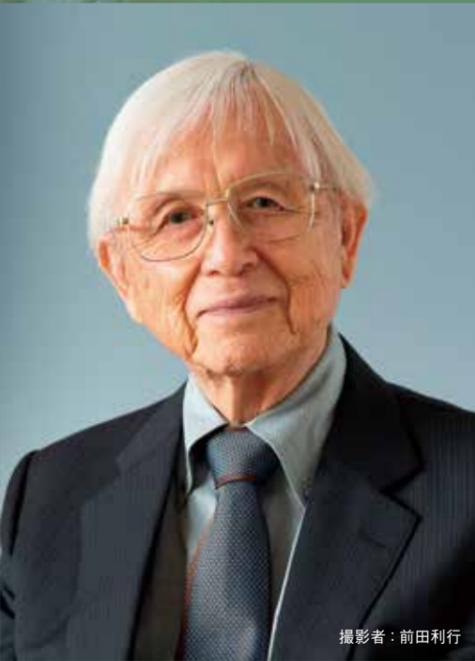


小嶋 希恵
 元宝塚歌劇団 雪組
 亀山ミュージカル
 ワークショップ講師

昭和54年 宝塚音楽学校入学。昭和56年 宝塚歌劇団入団。昭和61年 宝塚歌劇団卒業。宝塚歌劇団 合格者数日本一の学校 ケーアイミュージカルスクール代表。平成18年 足利市芸術監督に就任。長崎ハウステンボス、東京都豊島区、群馬県太田市など各地でミュージカルの脚本・演出を手掛ける。また、資生堂、イヴ・サンローランなど企業イベントの演出も手掛ける。

彫刻家 **中村 晋也**

私が亀山を離れてから長い年月が過ぎましたが、山や川が昔と変わらずそこにあり、やっぱりここは私の故郷、懐かしい子どもの頃がよみがえってきます。彫刻家として故郷に恩返ししたいという思いが叶って「愛うるはし」の像を制作できたことで、以前よりもっと「ここが故郷だ」と晴れやかな気持ちで言えるようになった気がします。おかげさまで私は今日も彫刻と向き合っている作品に挑んでいます。ありがたいことです。



撮影者：前田利行

彫刻家 **中村 晋也**

1926(大正15)年生まれ。2歳から22歳まで三重県鈴鹿郡井田川村(現亀山市)に在住。東京高等師範学校(現筑波大学)卒業後は、鹿児島を拠点に精力的に作品づくりに取り組まれている。特に、1995(平成7)年に発生した阪神淡路大震災被災者の鎮魂のために制作を始めた「ミゼレーレ」シリーズや「釈迦八相像」は、造形対象をより深く掘り下げた精神性を帯びた芸術の神髄ともいえる代表作で、常に変化し続ける独創的な作風と、その優美な芸術性は、国内外で高く評価されている。2007(平成19)年文化勲章受章。2009(平成21)年亀山市名誉市民。

Honorary Citizen
 Shinya Nakamura (Sculptor)

Born in 1926, Shinya Nakamura lived in Idagawa Village, Suzuka County, Mie Prefecture (currently Kameyama City) from the age of 2 to 22. After graduating from Tokyo Higher Normal School (now Tsukuba University), he has been actively engaged in creating his works based in Kagoshima. Notably, the Miserere series, which he began to create to console the souls of the victims of the Great Hanshin-Awaji Earthquake of 1995, as well as *The Sculpture of Shaka Hasso* are his masterpieces that express the essence of art imbued with deeper spirituality that delves into sculptural subjects. His continuously changing innovative style and elegant artistry have been highly reputed domestically and internationally. He received the Order of Culture in 2007 and was designated as an honorary citizen of Kameyama City in 2009.



「日本武尊 弟橘媛 愛うるはし」

令和5年1月26日、JR亀山駅前広場にヤマトタケル・オトタチバナヒメの像が建立され、除幕式が盛大に行われました。中村晋也さんが故郷亀山の発展と人々の幸せを願う気持ちを託して制作された像は、亀山駅前の新たなシンボルとなりました。



市立図書館文化情報プラザ

令和5年1月26日に開館した市立図書館1階文化情報プラザで、中村晋也さんの作品制作風景やご家族と過ごされる様子などを動画で紹介しています。また、館内には、中村さんの作品集など関連書籍の紹介コーナーを設けています。

写真と年表で振り返る
市制施行からの
20年



2005

平成17年
1月 11日 亀山市と関町が合併し、新「亀山市」が誕生 **1**
2月 5日 合併後の亀山市長選挙の執行、田中亮太氏が市長に就任
3月 13日 東名阪自動車道・亀山ICから伊勢自動車道・伊勢関ICまでの直結線が開通 **2**
3月 29日 亀山市の市章を発表 **3**

2006

平成18年
1月 19日 市の花が「花しょうぶ」、市の木が「杉」に決定
3月 29日 亀山西小学校校舎改築工事の完成
5月 1日 亀山里山公園「みちくさ」がオープン **4**
9月 14日 「鈴鹿関」西城壁が、聖武天皇が整備した瓦ぶきの「築地塀」と判明
10月 1日 「当地ナンバー」として、「鈴鹿ナンバー」がスタート

2007

平成19年
4月 1日 第1次亀山市総合計画がスタート
4月 1日 一般会計予算(平成19年度)が200億円を超える
4月 1日 「市民協働センター」がオープン **5**
4月 1日 亀山PAでスマートICの本格運用を開始
4月 15日 三重県中部を震源とする地震が発生し、亀山市で最大震度5強を観測
10月 23日 太岡寺町の国道1号に名阪国道と直結する「大阪方面ランプ(入り口)」が完成
11月 5日 国指定天然記念物ネコギギの生息確認の公表

2008

平成20年
2月 21日 亀山市人口5万人を達成 **6**
2月 23日 新名神高速道路・亀山JCTから草津田上ICまで(49.7km)が開通
3月 1日 市立医療センターと市内開業医が協力し、夜間時間外応急診療を開始
3月 23日 名阪国道から太岡寺町の国道1号への直結連絡路が完成

2009

平成21年
1月 19日 亀山市歴史的風致維持向上計画が、「歴史まちづくり法」施行後、国の第1号認定を受ける
2月 6日 亀山市長選挙の執行、櫻井義之氏が市長に就任
3月 25日 告別式場を備えた亀山市斎場がオープン **7**
4月 1日 「亀山市情報公開条例」の改正
10月 1日 子ども医療費助成を義務教育終了まで引き上げ
10月 1日 中部中学校でデリバリー給食の開始(平成23年度には亀山中学校でも開始)
12月 17日 文化勲章受章者・彫刻家の中村晋也氏を名誉市民に決定

2010

平成22年
1月 11日 市制記念日(5周年)
4月 1日 「亀山市まちづくり基本条例」の施行
4月 30日 「家族の時間づくりの日」の開始
7月 9日 市西部の森林地域などが鉱区禁止地域に指定
7月 13日 WHO(世界保健機関)健康都市連合に加盟

2011

平成23年
3月 5日 亀山東幼稚園舎改築工事の完成
3月 20日 亀山中学校校舎改築工事の完成 **8**
3月 26日 関中学校校舎改築工事の完成 **9**
3月 31日 全国初のITを活用した「亀山市史」の完成
4月 1日 亀山森林公園「やまびこ」がオープン
6月 1日 三重大学・亀山地域医療学講座(寄附講座)の協定締結 **10**
9月 25日 「日本・東海B11グランプリin豊川」で、亀山みそ焼きうどん本舗がゴールドグランプリ獲得

2012

平成24年
3月 26日 JRR井田川駅前の整備工事の完成 **11**
4月 17日 岡山県高梁市と災害時相互応援協定を締結
7月 10日 青森県五所川原市と災害時相互応援協定を締結
9月 30日 台風17号による豪雨で、家屋の床下・床上浸水や道路・河川・農業用施設に被害が発生

2013

平成25年
4月 7日 亀山城多門櫓「平成の大修理」の完成 **12**
10月 1日 市民活動応援制度「えがおカード」の開始
10月 17日 「中部歴史まちづくりサミット」の開催 **13**
12月 16日 「当地ラーメングランプリ2013」で、亀山ラーメンがグランプリ獲得

2014

平成26年
3月 30日 市道と賀白川線「忍山大橋」の開通 **14**
4月 1日 「亀山市犯罪のない安全で安心なまちづくり条例」の施行
5月 1日 亀山駅周辺市街地総合再生基本計画の策定
5月 10日 「かめやま文化年」プロジェクトの開始
8月 9日 台風11号の影響で、亀山市に初めて「大雨特別警報」が発表
8月 16日 NHK夏期巡回ラジオ体操の生放送
12月 13日 関宿重要伝統的建造物群保存地区選定30周年記念シンポジウムの開催

2005-2014



2015 平成27年

- 1月 11日 市制記念日(10周年)
- 1月 13日 ご当地ナンバープレート(原付バイク)の交付
- 2月 22日 かめやまホームケアネットの本格稼働
- 4月 1日 亀山消防署北東分署の開署
- 5月 30日 20年に一度の「東海道関宿 東追分」の鳥居お木曳き¹⁵
- 6月 14日 NHK「のど自慢」の公開生放送¹⁶

2016 平成28年

- 4月 1日 市立医療センターの経営形態を変更し、病院事業管理者を設置
- 4月 1日 市内初認定こども園(関認定こども園アスレ)の開設
- 4月 25日 「2016年ジュニア・サミットin三重」で、G7各国の高校生が関宿を訪問¹⁷
- 5月 15日 「地域まちづくり協議会」が市内22地区すべてに設立

2017 平成29年

- 4月 1日 第2次亀山市総合計画がスタート
- 4月 1日 市立医療センターで地域包括ケア病床の開設
- 4月 1日 地域予算制度の運用開始
- 7月 12日 大阪府泉佐野市と特産品相互取扱協定の調印¹⁸
- 10月 22日 台風21号による法面崩壊等で、JR 関西本線加太〜柘植駅間で翌年1月まで運転見合わせ

2018 平成30年

- 3月 20日 亀山・関テクノヒルズの新分譲区画造成工事の完成
- 4月 1日 CSW(コミュニティソーシャルワーカー)による地域での支え合いの仕組みづくりを開始
- 7月 31日 市内中学校普通教室等の空調機整備の完了(令和元年には小学校・幼稚園でも整備完了)
- 8月 2〜6日 全国高等学校総合体育大会(インターハイ)ウエイトリフティング競技大会の開催¹⁹
- 10月 1日 「かめやまのりあいタクシーのりかめさん」の運行開始

2019 平成31年・令和元年

- 3月 10日 川崎小学校校舎改築工事の完成²⁰
- 3月 17日 新名神高速道路・新四日市JCTから亀山西JCTまで(約23km)が開通
- 3月 29日 「亀山市鈴鹿川等源流域の自然環境と歴史的資源を守り継ぐ条例」の制定
- 7月 6日 「関の山車会館」がオープン²¹
- 7月 19日 市道野村布気線と一般県道亀山関線が開通
- 12月 21日 新名神高速道路・亀山西JCTの名古屋・伊勢ジャンプウェイの完成

2020 令和2年

- 1月 11日 市制記念日(15周年)
- 3月 16日 亀山市新型コロナウイルス感染症対策本部の設置
- 3月 31日 亀山市総合環境研究センターが15年にわたる活動に終了符
- 5月 1日 新型コロナウイルス感染症対策「緊急政策パッケージ」第1弾」の発表(以後、令和4年12月の「総合対策パッケージ」第12弾」まで、特別定額給付金、プレミアム商品券、亀山発熱検査外来など)²²
- 6月 1日 市立医療センターが開院30周年を迎える

2021 令和3年

- 3月 26日 鈴鹿関跡の一部が国史跡に指定²³
- 4月 6日 GIGAスクール構想による1人1台のタブレット端末の運用を市内小・中学校で開始²⁴
- 5月 19日 亀山市歴史的風致維持向上計画(第2期)が認定
- 8月 24日 亀山ブランドの初認定²⁵
- 12月 21日 「亀山市文化芸術基本条例」の制定

2022 令和4年

- 3月 25日 一般国道306号「鈴鹿亀山道路」が事業化
- 4月 1日 JR加太駅舎がリニューアルオープン
- 10月 21日 亀山駅周辺2ブロック地区第一種市街地再開発事業工事の完成²⁶
- 10月 28日 津市、鈴鹿市及び亀山市消防通信指令事務協議会の設置に関する協議書に調印
- 11月 4日 リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会が、本市内でのリニア県内駅候補地を決議

2023 令和5年

- 1月 26日 JR亀山駅前に新図書館を開館²⁷
- 3月 6日 名誉市民で彫刻家の中村晋也さん制作「日本武尊 弟橘媛愛するはし」像が建立²⁸
- 10月 7日 国立大学法人滋賀医科大学と共同研究講座設置協定を締結
- 10月 25日 かめやま健康都市大学を創設
- 亀山里山公園「みちくさ」が国の「自然共生サイト」に認定

2024 令和6年

- 3月 26日 かめやま生物多様性共生区域の初認定
- 4月 1日 こども家庭センターの開設
- 11月 2日 関宿重要伝統的建造物群保存地区選定40周年記念シンポジウムの開催

2015-2024

就業構造

出典：令和2年国勢調査結果（総務省統計局）

産業別就業人口は

- 第3次産業 57.8%
- 第2次産業 39.6%
- 第1次産業 2.6%

全国・県平均と比較して、第2次産業の占める割合が高い。

ものづくり産業が活発！

電子部品・デバイス・電子回路製造業
製造品出荷額等

全国2位

5,044億円

出典：2023年経済構造実態調査（製造業事業所調査）（経済産業省）



人口・世帯数

出典：住民基本台帳（令和6年10月1日現在）

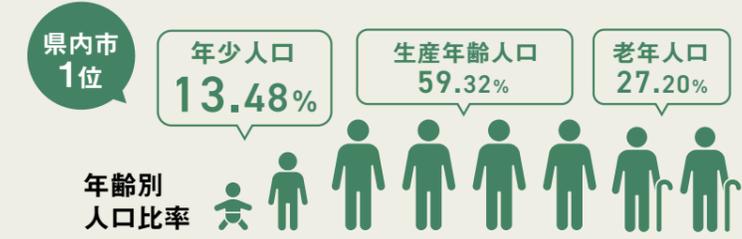
49,109人
22,435世帯

外国人住民数は 2,485人
総人口に占める割合 5.06%

若い世代が多い！

人口増減率 0.4% 県内市1位
 社会増減率 5.4% 県内市1位
 自然増減率 -5.0% 県内市3位

出典：2024年統計でみる三重のすがた



出典：都市データバック2024（東洋経済新報社）

完全失業率 2.7% 県内1位

出典：都市データバック2024（東洋経済新報社）

女性労働力率 55.4% 県内2位

出典：都市データバック2024（東洋経済新報社）

20th

現在の亀山市が誕生した日
平成17年1月11日

令和7年1月11日で
新市施行20周年を迎えました。

歴史・ひと・自然が心地よい
緑の健都 かめやま

三重県の北中部に位置

総面積は 191.04 km²

出典：令和6年全国都道府県市区町村別面積調（国土交通省国土地理院）

子育てしやすい！ 住みやすい！

子育てしやすい自治体ランキング

出典：子育てしやすい自治体ランキング（都市データバック2023）（東洋経済新報社）

水道料金の安さ 2,820円/月 県内市2位

水道料金の安さ

出典：都市データバック2024（東洋経済新報社）

定住意向の強さ 85.1%



出典：第2次亀山市総合計画後期基本計画推進のための市民アンケート調査（令和6年）

年間平均気温 16.0℃

出典：気象庁データ（令和5年）

最高気温 37.1℃
最低気温 -6.4℃

年間降水量 1,521mm

最大1日降水量 126.5mm
（令和5年8月15日）

最大1時間降水量 33.5mm
（令和5年8月15日 1時29分）



緑豊かで過ごしやすい！

地目別民有地割合

出典：三重県統計書（令和6年）

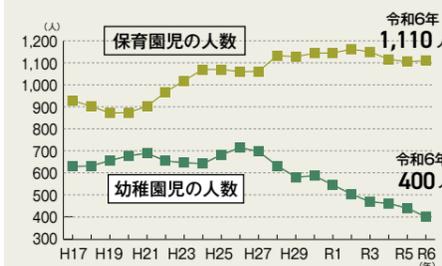
山林 50.0%



田畑 25.2%
宅地 14.0%
その他 10.8%

平成17年から令和6年の園児・児童・生徒の増加率

保育園児・幼稚園児 -3.1%



※保育園児には認定こども園児を含む

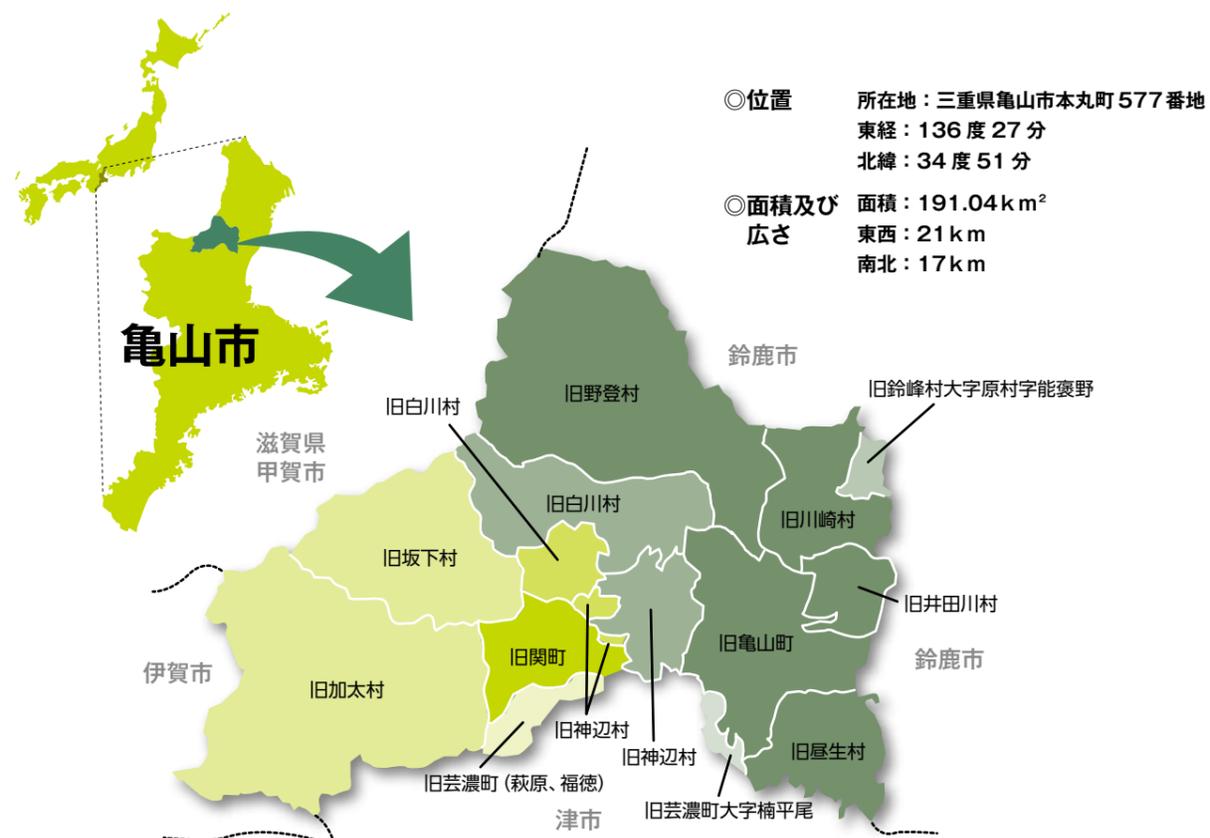
小学生 5.7%



中学生 15.9%



資料：子ども政策課、学校基本調査



◎位置 所在地：三重県亀山市本丸町577番地
東経：136度27分
北緯：34度51分

◎面積及び広さ 面積：191.04km²
東西：21km
南北：17km

- | | |
|------------------------------|-------------------------------|
| 旧関町 | 旧亀山市 |
| 明治 22. 4.1 町制施行 | 昭和 29.10.1 市制施行 |
| 昭和 30. 2.1 旧神辺村及び旧白川村の区域を編入 | 昭和 30. 2.1 旧白川村及び旧神辺村の区域を編入 |
| 昭和 30. 4.17 旧加太村及び旧坂下村の全域を編入 | 昭和 32. 4.1 旧鈴峰村大字原村字能褒野の区域を編入 |
| 昭和 33. 4.1 旧芸濃町のうち萩原、福徳を境界変更 | 昭和 33. 4.1 旧芸濃町大字楠平尾の大部分を編入 |

都市宣言

非核平和都市宣言

世界の恒久平和は人類共通の願いである。私たちは、世界で唯一の核兵器による被爆国民として、二度とこのような惨禍が繰り返されることのないよう強く念願する。核兵器の廃絶を全世界に訴えとともに、非核三原則が堅持されることを強く希求し、豊かな自然、歴史あるまちを維持し、市民の平和な暮らしを守るため、ここに亀山市は「非核平和都市」を宣言する。

人権尊重都市宣言

人は誰でも生まれたときから、自由で、平等で幸せに生きる権利を有している。私たちは、豊かな自然と悠久の歴史に満ち溢れたまち亀山を愛し、最も大切な基本的人権を尊重する。子どもも大人も全ての人々が輝き、このまち亀山に住んで良かったと実感できるまちづくりを進めるため、ここに亀山市は「人権尊重都市」を宣言する。

暴力追放都市宣言

暴力のない、明るく住みよい社会を誰もが願っている。善良な市民生活に脅威を与える暴力は、絶対に容認できない。私たちは、関係機関や関係団体と総力を結集して、一切の暴力を追放し、法令遵守を基本理念としたまちづくりを推進するため、ここに亀山市を「暴力追放都市」とすることを宣言する。

交通安全都市宣言

交通事故のない安全で、安心な社会は、市民の共通の願いである。私たちは、交通ルールを守り、思いやりのある交通マナーを実践するとともに、人命尊重の理念のもと、交通事故の絶滅を期し、ここに亀山市を「交通安全都市」とすることを宣言する。

平成 18 年 3 月 28 日亀山市議会定例会で議決

財政状況

財政力指数

0.819

出典：市町村別決算状況調（令和5年度）

経常収支比率

86.8%

出典：市町村別決算状況調（令和5年度）

県内市 3位

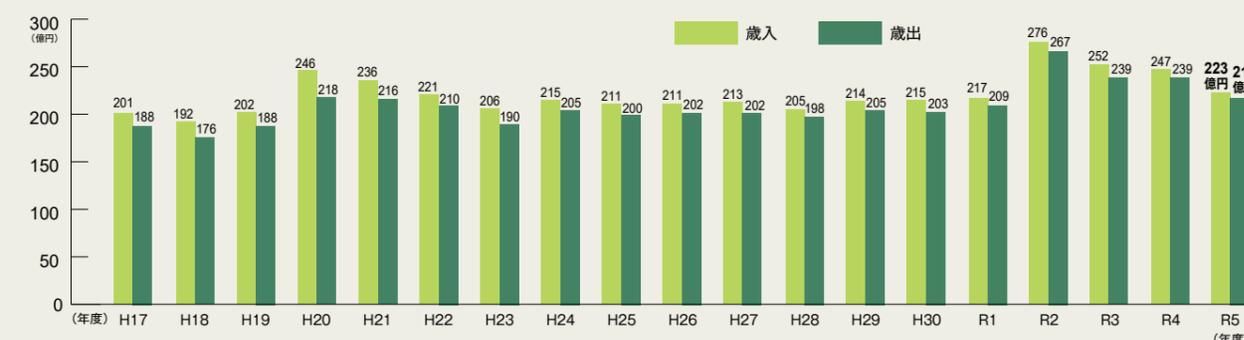
県内市 3位

市債残高・実質公債費比率



※実質公債費比率は、平成19年度決算から導入された指標

決算額の推移



出生

1日に 1.08人

1日に1.14人（平成30年）

家族構成

1世帯あたり 2.20人

1世帯あたり2.30人（平成30年）

死亡

1日に 2.7人

1日に1.43人（平成30年）

結婚

0.78日に 1組

2.31日に1組（平成30年）

離婚

3.41日に 1組

4.74日に1組（平成30年）

転入転出

転入 1日に 6.54人
転出 1日に 6.15人

転入1日に7.76人
転出1日に8.24人（平成30年）

議員

市民 2,739人に1人

市民2,763人に1人（平成30年）

数字で見る

市民の暮らし

令和5年

教員

小学生 12人に1人
中学生 13人に1人

小学生11人に1人
中学生11人に1人（令和元年5月）

市職員

市民 86人に1人

消防職・医療職等を含む
市民84人に1人（平成30年4月）

交通事故

人身事故 1日に 0.25件
物損事故 1日に 3.52件

人身事故1日に0.2件
物損事故1日に3.6件（平成30年）

救急

1日に 7.0件

1日に6.3件（平成30年）

火災

17.4日に 1件

13.5日に1件（平成30年）

刑法犯罪

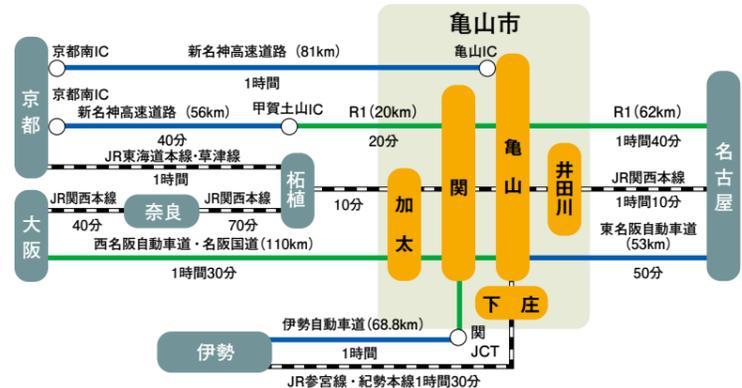
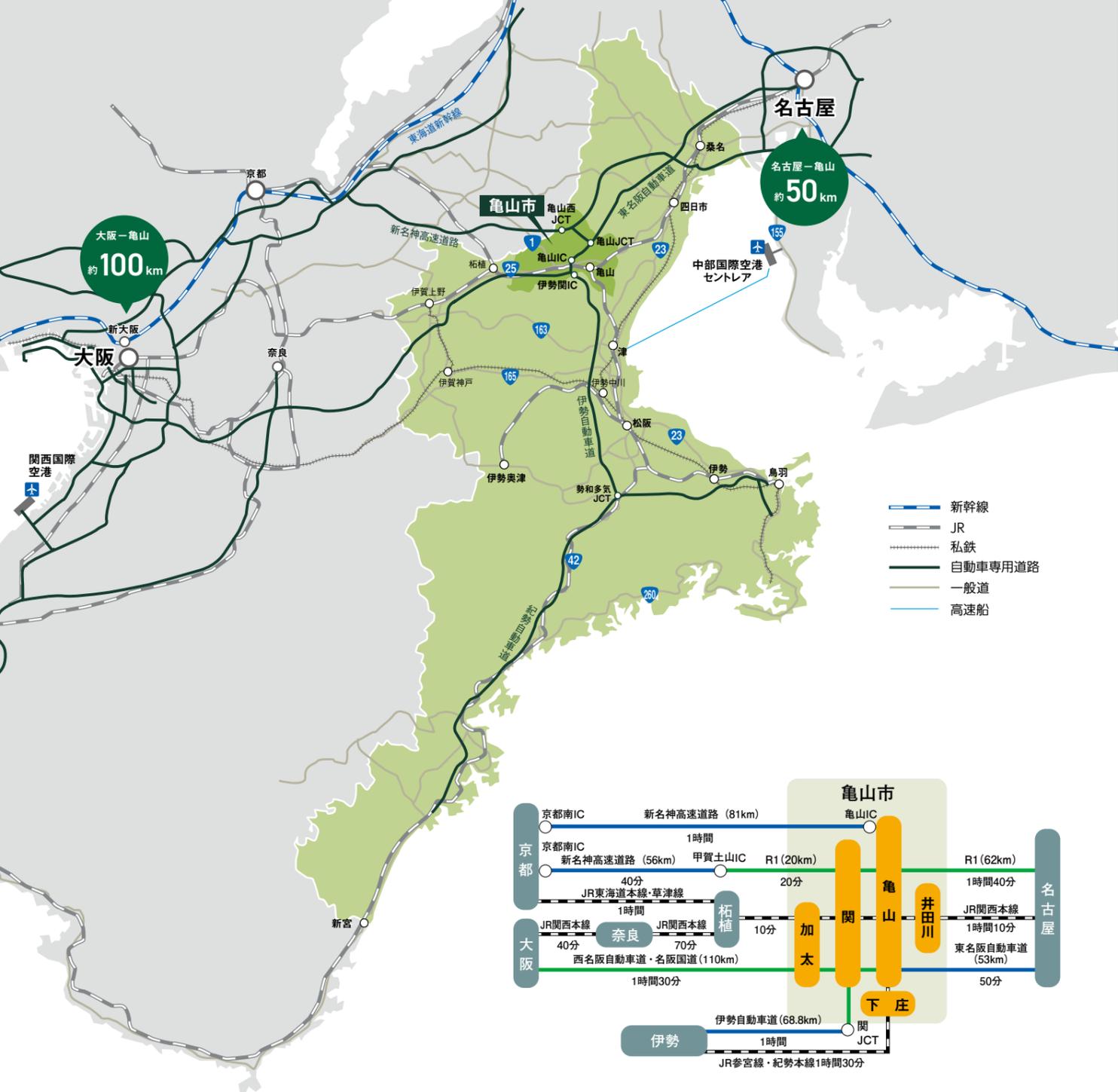
1日に 0.79件

1日に0.8件（平成30年）

人口密度

258人/km²

260人/km²（平成30年）



市章

亀山市の特徴である豊かな自然や歴史文化を守り、さらに高めていく姿を大きな山並みとして表し、曲面(ウェーブ)はときめく亀山市の限りない発展を表しています。



市の木

市の木「杉」は、野登寺の杉並木や川俣神社、片山神社のご神木の杉など、市内を代表する歴史的な背景を持つ史跡とともに、古くからなじまれてきた木です。



市の花

市の花「花しょうぶ」は、亀山公園内の菖蒲園に100種12,000株の花が咲き誇り、毎年6月には「花しょうぶまつり」が開かれるなど、なじみ深く親しみのある花です。

特別職

1 歴代議長・副議長

議長		
氏名	就任	退任
森 淳之祐	H17. 1.21	H17.11. 4
小坂 直親	H17.11. 4	H18. 1.23
竹井 道男	H18. 1.23	H18.10.31
葛西 豊	H18.11.14	H19.11.12
大井 捷夫	H19.11.12	H20.11.11
小坂 直親	H20.11.11	H21.11.11
水野 雪男	H21.11.11	H22.10.31
大井 捷夫	H22.11.12	H23.11.11
小坂 直親	H23.11.11	H24.11. 9
櫻井 清蔵	H24.11. 9	H25.11. 8
宮崎 勝郎	H25.11. 8	H26. 6.10
前田 耕一	H26. 6.10	H26.10.31
前田 稔	H26.11.13	H27.11.13
前田 耕一	H27.11.13	H28.11.11
中村 嘉孝	H28.11.11	H29.11.14
西川 憲行	H29.11.14	H30.10.31
小坂 直親	H30.11.12	R 2.11.12
中崎 孝彦	R 2.11.12	R 4.10.31
森 美和子	R 4.11.10	R 6.11.14
岡本 公秀	R 6.11.14	

副議長		
氏名	就任	退任
小坂 直親	H17. 1.21	H17.11. 4
宮崎 伸夫	H17.11. 4	H18. 1.23
増亦 肇	H18. 1.23	H18.10.31
大井 捷夫	H18.11.14	H19.11.12
池田 依子	H19.11.12	H20.11.11
松上 孝	H20.11.11	H21.11.11
宮村 和典	H21.11.11	H22.10.31
宮崎 勝郎	H22.11.12	H23.11.11
片岡 武男	H23.11.11	H24.11. 9
坊野 洋昭	H24.11. 9	H24.12.17
前田 稔	H24.12.21	H25.11. 8
前田 耕一	H25.11. 8	H26. 6.10
中村 嘉孝	H26. 6.10	H26.10.31
鈴木 達夫	H26.11.13	H27.11.13
岡本 公秀	H27.11.13	H28.11.11
森 美和子	H28.11.11	H29.11.14
岡本 公秀	H29.11.14	H30.10.31
中崎 孝彦	H30.11.12	R 1.11.12
新 秀隆	R 1.11.12	R 2.11.12
尾崎 邦洋	R 2.11.12	R 3.11.12
今岡 翔平	R 3.11.12	R 4.10.31
服部 孝規	R 4.11.10	R 5.11.14
伊藤彦太郎	R 5.11.14	R 6.11.14
森 英之	R 6.11.14	

2 歴代市長・副市長・収入役・教育長・病院事業管理者

市長		
氏名	就任	退任
田中 亮太	H17. 2. 6	H21. 2. 5
櫻井 義之	H21. 2. 6	

副市長		
氏名	就任	退任
小坂 勝宏	H17. 2.22	H22. 3.31
(H17.2.22 ~ H19.3.31 は助役)		
安田 正	H22. 4. 1	H26. 3.31
広森 繁	H26. 4. 1	H30. 3.31
西口 昌利	H30. 4. 1	R 4. 3.31
山本 伸治	R 4. 4. 1	

収入役		
氏名	就任	退任
草川 徹	H17. 2.22	H21. 2.21

教育長		
氏名	就任	退任
森下 文勝	H17. 1.11	H17. 2.21
伊東 靖男	H17. 2.22	H23. 2.21
伊藤ふじ子	H23. 2.22	H28. 3.31
服部 裕	H28. 9. 1	R 4. 6.30
中原 博	R 4. 9. 1	

病院事業管理者		
氏名	就任	退任
伊藤 誠一	H28. 4. 1	R 2. 3.31
上田 寿男	R 2. 4. 1	R 6. 3.31
谷川 健次	R 6. 4. 1	



〒519-0195 三重県亀山市本丸町 577 番地
TEL 0595-82-1111(代表) FAX 0595-82-9955
URL <https://www.city.kameyama.mie.jp>